

2018.7.24

第4回 MaSC 技術交流会 “Real Exchange” を開催しました。

2018年7月24日（火）、東北大学金属材料研究所講堂にて、第4回 MaSC 技術交流会 “Real Exchange” を開催し、80名を超える方々にご参加いただきました。

今回は「究極の見える化 ―科学の視点、女性の視点―」のテーマで、ノンフィクション作家で科学技術ジャーナリストの山根一真氏から特別講演を頂戴した後、本学多元物質科学研究所の村松淳司所長のオーガナイズによるパネルディスカッションが行われ、活発な討議がなされました。

第一部の「科学の視点」では、多元物質科学研究所の高田昌樹教授による「放射光で見えてくるもの」と題する基調講演の後、同研究所の陣内浩司教授による「電子線でやわらかい物質を観る ―クライオ電顕を超えるもの―」と題する講演と、金属材料研究所の杉山和正教授による「鈹物の観察：地球からの贈り物」と題する講演をいただきました。

第二部の「女性の視点」では、MaSC の多喜義彦客員教授のコーディネートでパネルディスカッションが行われ、(株)栄光の横田里美様、(株)SEE THE SUN の金丸美樹様、(株)ティ・ディ・シーの赤羽優子様より、東北放射光施設など先端科学技術による見える化について興味深く有益なコメントを頂戴すると共に、会場からも複数の貴重なご意見を頂戴し、盛況裡に終了しました。

その後、MaSC の中庭にて懇親会が催され、40名程の参加者が夕暮れの枝垂桜の下で、楽しく活発な議論を交わしました。

